

奏でる喜び、皆と

浦添ジュニア弦楽団誕生

【浦添】浦添市内の小中高校生を中心にした弦楽団「浦添市ジュニアストリングス」(宮城むつみ団長)がこのほど誕生した。二十一日には結成後、初めてのミニコンサートを浦添市役所で開く。浦添市子ども文化連盟(太陽樹)に加盟する六番目の団体で、将来は太陽樹加盟のジュニア吹奏楽団とのジュニアオーケストラ創設を目指し、夢に向かって活動に励んでいる。

市役所で21日ミニ公演

現在、団員は二十人。民謡分館を拠点に練習し、小学一年生から高校生までいる。今年五月に結団式があった。



初のミニコンサートへ向け、熱心に練習する団員ら＝浦添市伊祖の中央公民館分館

指導は沖縄弦楽指導者協会会員で、県立基大非常勤講師の阿波根由紀さんら四人が担当。団員は阿波根さんの教え子を中心に、有志五人が指導のアシスタントを務める。今後の活動は、二十一日のミニコンサートのほか、十一月には太陽樹の演奏会で吹奏楽団との合同発表も予定している。

バイオリン歴六十七年という伊波博登君(昭葉付中二年)は、八月のコンサートがうまくできると心配と懸命に練習していた。チェロの玉城絵里子さん(那覇市、石田中三年)は「これまでは演奏の

ための一時的な集まりしかなく、人数が増えたことでいろんな曲が演奏できてうれしい。ペーターの第九をやってみたい」と意気込んだ。

指導する阿波根さんは「将来は市内に広げていきたい。最近は楽器のレンタルもあるので、参加しやすいと思う。基本ができていれば大丈夫」と新たな団員を歓迎した。

弦楽器の子ども樂團発足

浦添市ジュニアストリングス



オーケストラへの発展期待

【浦添】「地域の中へ一音のあふれるまちづくり」を目指す市に十八日、弦楽器を志す子どもたちを対象にした「市ジュニアストリングス」が発足した。市子ども文化連盟太陽樹（ティダージュ）の六番目の団体となり、市は将来的にはすでにある市ジュニア吹奏楽団と一体化し、オーケストラ団体として発展することに期待を寄せている。

市中央公民館分館で同日、結成総会が行われ、音楽監督に市教育委員会の伊敷健指導主事が就く役員案や、第一回演奏を七月十九日に市てだこホールである市と中国・泉州市友好都市締結二十周年記念事業で開く活動計画案などを承認した。

団員は現在募集中で、市内の小学校一年―高小三年生の約二十人を想定している。練習は月一回。第三日曜日の午前十時から二時間を予定している。

音楽監督に就任した伊敷指導主事はいさつで、「音のあるまちづくりに向けて少しずつではあるが、きちんとした組織を築きたい。みんなで力を合わせて頑張りましょう」と気を引き締めた。

役員はこのほか、団長に市教育研究所の宮城むつみ所長、副団長に市文化協会の田前義徳音楽部会長と沖繩弦楽指導者協会の川崎達副会長が就任。事務局を同公民館分館に置くことを決めた。

館分館

4) 7781。

総会後、記念演奏があり、団員への指導に当たる沖繩弦楽指導者協会会員の原國智江さんらが曲を披露した。

問い合わせは同分館事務局、電話098(89

弦楽器の音色 市役所に響く

浦添、木曜コンサート

【浦添】浦添市役所ロビーを会場に音楽を生演奏で提供する「木曜コンサート」(主催・浦添



市、共催・浦添市こども文化連盟太陽樹)が二十一日開かれ、BENE弦楽五重奏団と浦添市ジュニアストリングスが共演、十二曲を披露した。写真。お昼休みに響いた弦楽器の豊かな音色に、窓口を訪れた市民らが聞き入っていた。

市内の小中高校生が集

まり、五月に発足したジュニアストリングスの初のコンサート。熱心に演奏する姿に市民らが温かい拍手を送っていた。

木曜コンサートは浦添市が十一月に予定する「こどもの都市宣言」のプレイベント。毎月第二木曜日の正午から市役所ロビーで行われている。